

特別定額給付金について

令和2年8月11日（火）まで、特別定額給付金の受付を行っています。

申請書に必要事項を記入押印の上、申請者（世帯主）の身分証明書（運転免許証など）と振込口座の通帳の写しを添付して、返信用封筒で提出してください。

なお、揖斐川町において令和2年4月27日現在住民基本台帳に登録されていた方で、申請書を受け取っていない（届いていない）方がみえましたら、揖斐川町役場政策広報課【Tel 22 - 2111】までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症経済対策について

【国】持続化給付金 …Webで電子申請してください。電子申請が困難な方のために、7月下旬に揖斐川町商工会を会場として相談会を開催予定です。 ※事前予約制

【町】揖斐川町持続化給付金 …国の持続化給付金の交付を受けた事業者に、国の額の1/10を給付します。

■お問い合わせ 揖斐川町役場産業振興課 Tel 22 - 2111



①



②



③



④

①国内、海外でコーヒーを専門に10年以上勤務

②春日の水のおいしさに感動

③谷あいに残る暮らし方、文化を学び中

④伊吹の薬草を守るために、現場から勉強中



<地域おこし協力隊>は、都市部の住民が地方に移住し、地域おこしの担い手となる総務省の制度で、全国の地方部で多くの隊員が活動しています。

揖斐川町にも、3月より新たに1名の隊員が着任し、現在2名が活動しています。連載で隊員を紹介しています。

まちで見かけたら気軽に声をかけてください!

泉野かおり いずみの・かおり（岐阜県大垣市出身）

大学をきっかけに岐阜を離れ10年ぶりに岐阜に戻りました。県外や海外にいて、最も感じたことは故郷について、日本について、紹介できない自分があるということでした。

帰国してから揖斐川町内で行われていたワークショップに

参加する中、揖斐川町内の自然や文化に魅力を感じ、もっと外へこの魅力を発信していきたいと強く思うようになりました。これから揖斐川の食文化を介してこの町に触れながら、新しい視点で外に広めていきたいと思っています。

友好都市

芽室町 だより

地域おこし協力隊

芳野都馬さん着任!

昨年度の11月号にて掲載しました移住ドラフト会議にて、芽室町が交渉権を獲得した芳野都馬さんが地域おこし協力隊に着任しました。

7月号では、芽室町の新しい顔、芳野都馬さんについての紹介を行います!紹介にあたり、3つの質問を中心にインタビューを行いました。

①なぜドラフト会議に参加を決めたのか
「大学3年生の時に日本一周旅行を行っていましたが、その時に、北海道を訪れ一度は住んでみたいと感じました。また、宿泊先のゲストハウス運営者がドラフト会議の運営委員という縁を感じ、参加を決めました」

②芽室町の印象

「11月末に初めて芽室町を訪れた時「畑・山・雪」があってT H E 北海道・十勝という印象を持ちました」

③協力隊として活動したいこと

「(芽室版)ジモト大学などの活動はコロナウイルスの影響から満足にできていませんが、小中学生をターゲットに勉強へのモチベーションの上げ方などをYouTubeに投稿する新しい分野にチャレンジしていきます。ぜひご覧ください」

芽室町では、芳

野都馬さんという

新しい力も加わり、

コロナウイルスにも

負けない街づくりを進めていきます。



芳野都馬さん